

## 7 日本の資源・エネルギーと電力

### ○資源を輸入に頼る日本

- ( **鉱産資源** \*)とは、工業の原料やエネルギー源となる鉱物や岩石などのこと  
→世界の偏った地域に分布していることが多く、工業が盛んな国で大量に消費される傾向

#### 日本の鉱産資源

1960年代:石炭や銅などの採掘

→埋蔵量が少なく、採掘に費用がかかるため、外国産の資源に頼るようになる

現在:鉱産資源を各国から輸入

- 〔 原油…西アジアの国々(サウジアラビアやアラブ首長国連邦など)
- 鉄鉱石・石炭…オーストラリアなど
- 〔 原油・天然ガス…ロシアと共にシベリヤやサハリンで開発

### ○生活を支える電力

#### 日本の発電方式

→( **水力発電** \*\*)が多かったが、( **火力発電** \*\*\*)や( **原子力発電** \*\*)の割合が高まる

※( **水力発電** )とは、水が落下する時のエネルギーを利用する発電方式のこと

( **火力発電** )とは、石油や石炭などの化石燃料を利用する発電方式のこと

( **原子力発電** )とは、ウランを燃料とする発電方式のこと

火力発電の課題:( **地球温暖化** \*\*\*)を引き起こす問題など

→原子力発電が推進されたが、福島第一原子力発電所の事故(2011)をきっかけに見直しへ

→日本では、( **再生可能エネルギー** )を利用した発電の拡大に期待

※( **再生可能エネルギー** )とは、太陽光や風力、地熱、バイオ燃料などの自然から得られるエネルギーのこと

### ○持続可能な社会に向けて

#### 資源の少ない日本の取り組み

〔 再生可能エネルギーの活用

〔 資源の見直しや、( **省エネルギー** )の技術の活用

→消費電力の少ない家電製品の利用、電気自動車の普及、積極的な( **リサイクル** )など

例) 不要なパソコンや携帯電話から( **レアメタル** \*\*)の回収、再利用

( **持続可能な社会** \*)の実現へ

→限りある資源を将来にわたって活用し、世界の国々と協力して環境に配慮する